

## ◆ロフトを作成する◆

3Dマイホームデザイナーでは、ロフトを自動作成する機能はありませんが、間取り画面で2階に「吹き抜け」を配置し、その2階を立体化後に編集しロフトとして利用することができます。

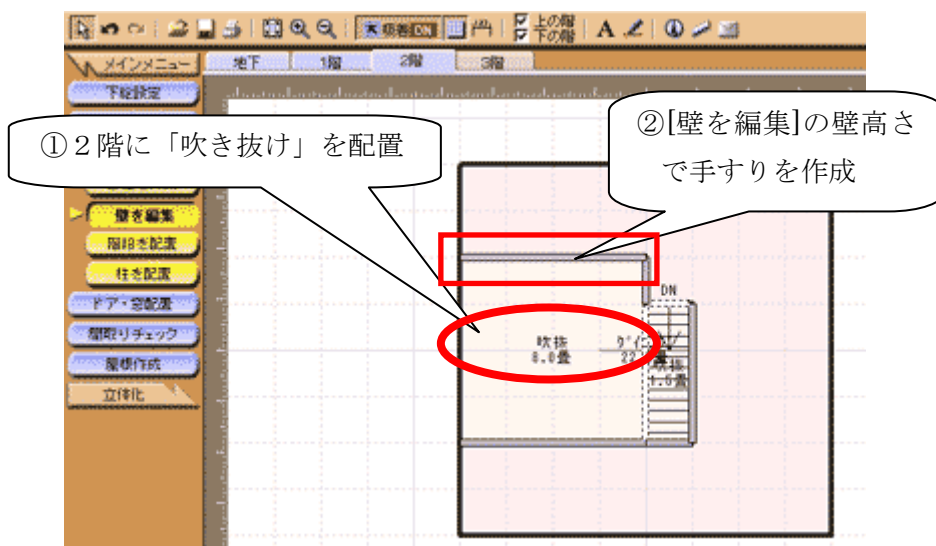


### ◇作成手順

- ① 間取り画面で1階と2階の間取りを作成します。
- ② 立体化設定で2階部屋高と屋根勾配を変更し立体化します。
- ③ 3D画面上で2階の天井を削除し完成させます。

### [1]間取り画面で1階と2階を作成します。

(1) 1階の間取りを作成後、2階をロフトとして利用するため、2階に「吹き抜け」を配置します。2階の「吹き抜け」とその他の部屋の間にある壁は、ナビの[壁を編集]—[壁高さ]で壁高を低くし、ロフトの手すり部分として使用します。



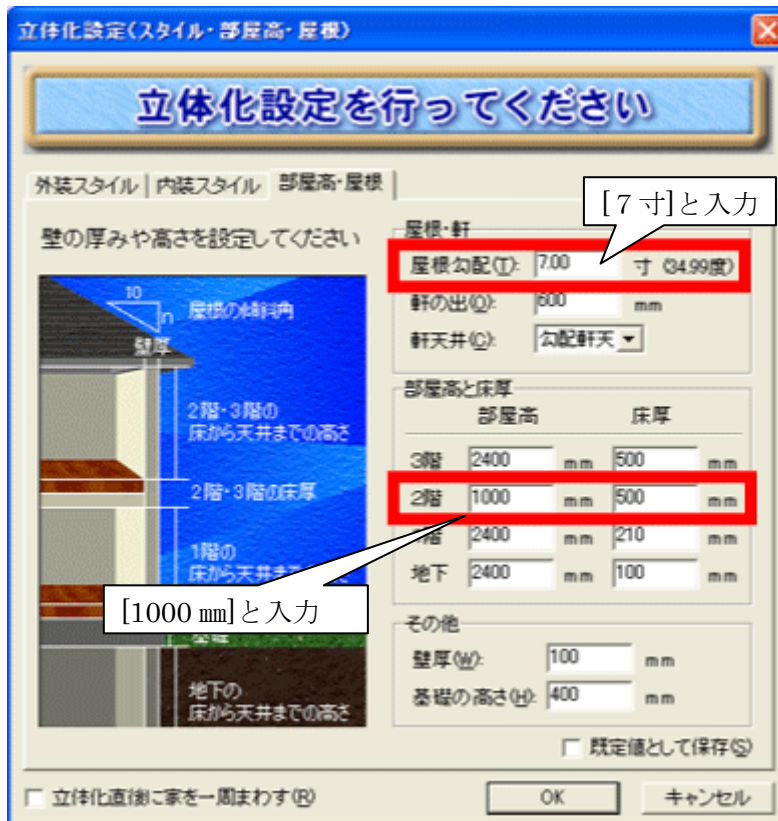
※初期設定では2階に配置した「吹き抜け」の部屋にも[幅木]と[廻り縁]が設定されています。ロフト部分に[幅木]や[廻り縁]を設定したくない場合は、「吹き抜け」の部屋をダブルクリックし[部屋プロパティ]で[幅木]と[廻り縁]のチェックを外します。

## [2]2階(ロフト)の部屋高と屋根勾配を変更し、立体化します。

(1) 2階をロフトとして利用するため、立体化前に2階部屋高を低く設定します。

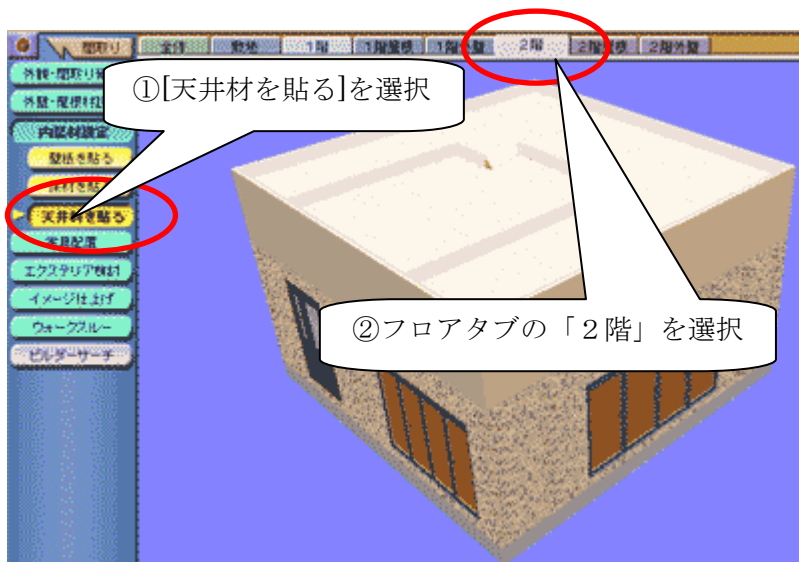
[立体化設定 (スタイル・部屋高・屋根)] の[屋根高・屋根] タブを選択し、「屋根・軒」の[屋根勾配]と「部屋高と床厚」の[2階]部分の値を変更します。目安として屋根勾配[7寸]、部屋高[1,000mm]程度、床厚[500mm]程度を入力後、立体化します。

※この作例では立体化後の屋根をそのまま天井として利用しますので、設定する[屋根勾配]の値は、完成時にはロフトの天井勾配になります。低い値を設定するとロフトの天井が低くなります。

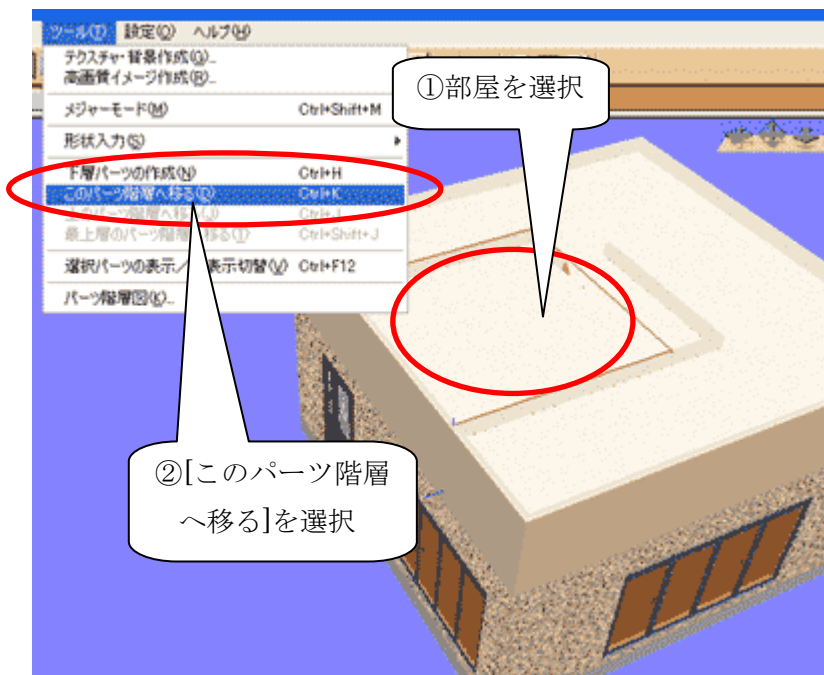


### [3]3D画面で編集し、仕上げます。

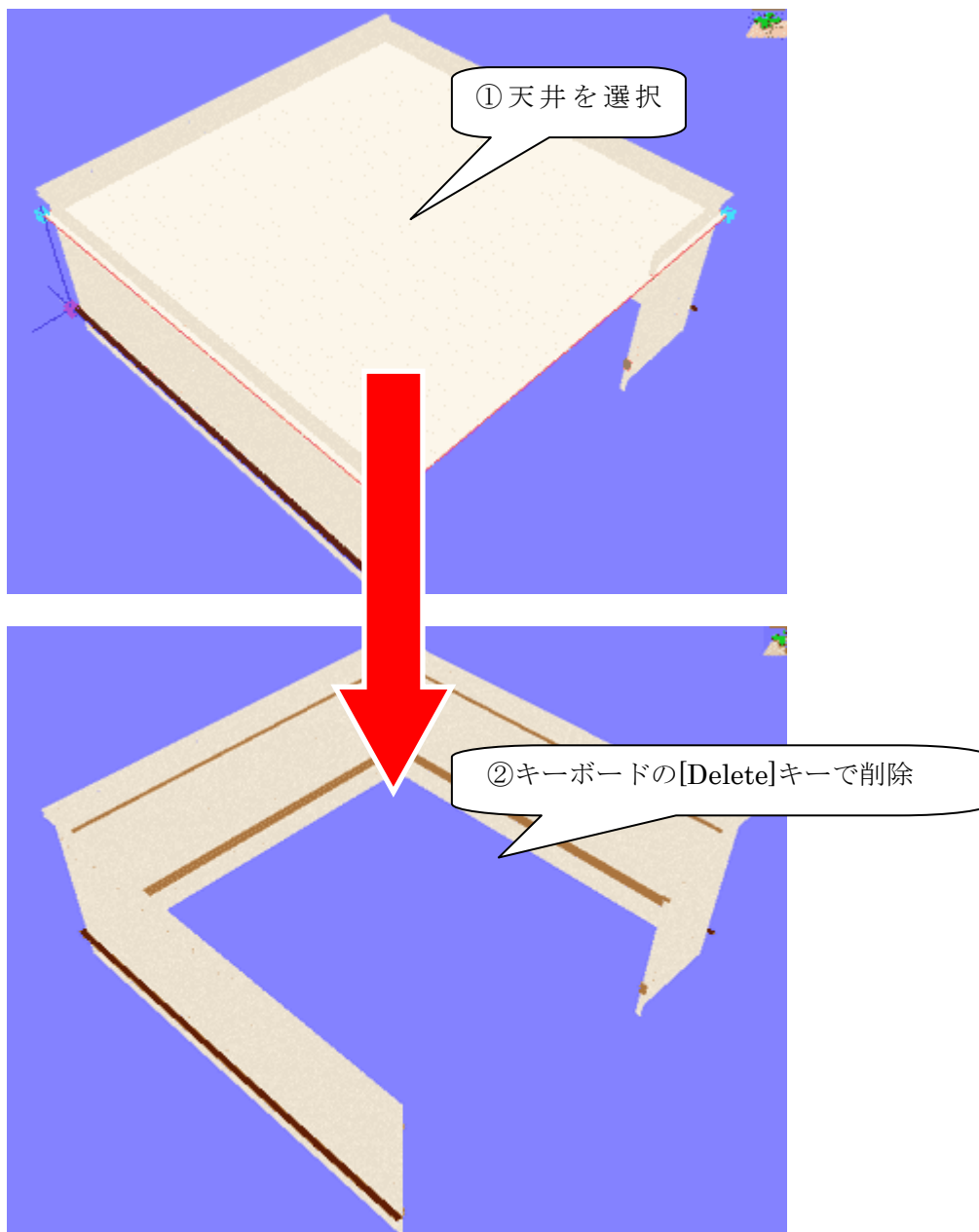
(1)立体化時に[立体化設定 (スタイル・部屋高・屋根)]で部屋高を低く設定しているため、2階の天井が低くなっています。この低くなった天井を削除し2階をロフトとして利用できるように編集します。3D画面のナビから[内装材設定]-[天井材を貼る]を選択し、フロア切り替えタブの「2階」を選択します。



(2)天井を削除する部屋を選択し、[ツール]メニューから[このパーツ階層へ移る]を選択します。

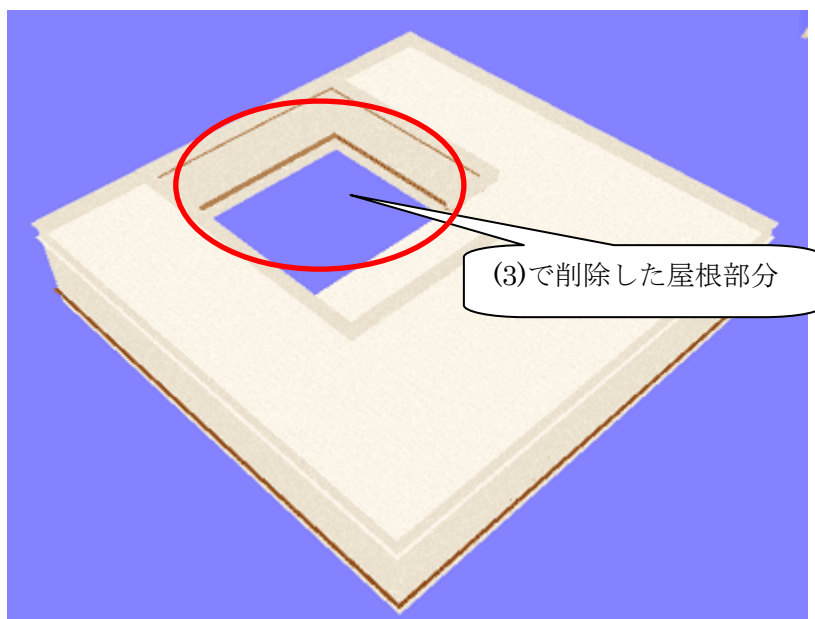


(3) (2)の作業を部屋の天井を選択することができる画面まで繰り返し、天井を選択後、キーボードの[Delete]キーで削除します。



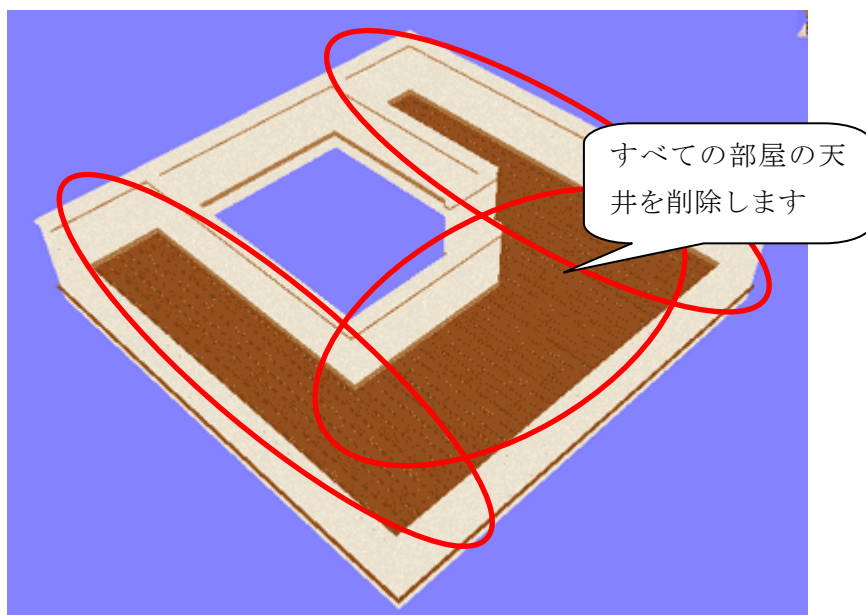
(4)再度[ツール]メニューから「上のパーツ階層へ移る」を選択し、1つ上の階層に戻ります。

※(3)で削除した屋根が削除されています。



(3)で削除した屋根部分

(5)(1)~(4)の作業を2階の全ての部屋で行い、2階の部屋にある全ての天井を削除します。



すべての部屋の天井を削除します

(6)2階のすべての部屋の天井を削除して完成です。

